

与信管理編3：歴史のある会社といっているが本当？

《審査マンの悩み》

商品を購入したいと取引の依頼があったが初めての相手。先方がFAX送付してきた自社の企業概要書。設立は古いように記載されているが、信用してよいものかどうか
TDBの調査報告書を使って相手企業の沿革を見てみましょう。

ステップ1：沿革を確認する。

【系列・沿革】特記事項欄

■ 特記事項

年月	特記事項
昭 12 4	本社・工場を東京都豊田区西六郎246（原大田区）に新築し、東京都品川区大井元芝町850より移転。同時に品川工具製作所（個人経営）から品川工具（株）に商号変更とともに株式会社に変更した。
18 4	新築市花園2-4-2に新築工場を建設。
33 12	商号を品川工具（株）より帝國エンジニアリング（株）に変更。
44 9	実質本社を東京都大田区西六郎3-22-3より東京都中央区新富1-12-2へ移転。登記簿本店は代表居宅である東京都港区南青山2-5-20に置く。
50 10	大塚富源を新設。
53 3	負債欠損解消のため資本金を3億5,000万円から2億5,000万円に減資。減資は全てサンワ（株）の持株分で行われたが、この結果同社との関係は以前に比して薄れることとなった。
4	代表取締役社長岩井正夫氏に代わり、大塚武夫氏が代表取締役社長に就任。

【系列・沿革】特記事項欄

会社の経歴に関係のある重要事項（商号・代表者変更や住所移転及び法的申請・焦げ付き・合併など）が記載。

活用ポイント「過去をつかむ」

設立が古い企業であっても、休眠会社を買収して再開し、歴史のある会社のように見せることもあります。

危ない会社の見分け方

過去何らかの問題があって、別の企業と思わせるために住所移転や商号変更さらに代表者変更を頻繁に繰り返すといった事例もあります。

【代表者欄】より、経歴や関係事業も確認してみましょう。

ステップ2：代表者の経歴を確認する。

【代表者欄】経歴・関係事業

■ 経 歴

年月	経 歴
昭 33 4	朝日紡織（株）入社。
43 8	帝国冶金工業（株）入社。同社企画課長。
54 6	帝国冶金工業（株）退社。
8	当社常務取締役に就任。
平 5 12	当社代表取締役社長に就任。現在に至る。

■ 関係事業・公職・その他

帝国プラント建設（株）取締役

【代表者欄】経歴

代表者のこれまでの経歴（抜粋）が記載。

活用ポイント「経営能力を推し量る」

経歴から業界経験と経営経験をみる事が出来ます。

【代表者欄】関係事業・公職・その他

当社以外の役員就任や活動状況が記載。

さらに審査の精度をあげるには

関係事業会社の報告書を取得し、信用力がある先どうかの確認をすることも効果的です。

新設会社では信用が低いと見られるために休眠会社を買収し業歴が長いように装うケースや役員履歴や過去の事件を悟られないよう頻りに商号変更や住所移転を繰り返している場合もあります。そうした場合、TDBへ調査や問合せが増加する場合があります。新規取引で怪しいなと感じた場合には、報告書の活用とともにTDB担当者への問い合わせをお勧めします。

（なお、ここで用いた報告書サンプルについて実在する会社・個人とは一切関係ありません）